

島根県介護員養成研修（初任者研修通信課程）情報開示

大区分	中区分	小区分	開示内容		
研修事業者情報	法人情報	法人格	公益財団法人 介護労働安定センター		
		代表者名	理事長 藤澤 勝博		
	研修機関情報	事業所名称	公益財団法人介護労働安定センター島根支部		
		目的	介護関係業務に従事する労働者について、雇用管理の改善、能力の開発及び向上、労働力の需給調整に対する支援等を行うために必要な事業を実施することにより、介護労働者の職業の安定その他福祉の増進に資することを目的とする。		
		学則	別紙のとおり		
		研修施設	悠邑ふるさと会館 大会議室		
		研修施設設備			
研修事業情報	研修の概要	対象	邑智郡内にお住まいの方、邑智郡内の介護事業所にお勤めの方		
		研修スケジュール	1日目	開講式・オリエンテーション、職務の理解	
			2日目	介護における尊厳の保持・自立支援、介護の基本、介護・福祉サービスの理解と医療との連携	
			3日目	介護におけるコミュニケーション技術、老化の理解	
			4日目	認知症の理解、障害の理解	
			5日目～15日目	こころとからだのしくみと介護支援技術	
			16日目	振り返り、修了評価試験、アンケート、閉校式、就職ガイダンス	
			定員	15名	
		研修受講までの流れ	受講申込書に必要事項を記入し、当センターまでFAXまたは郵便で送付もしくはホームページから申し込む		
		費用	無料		
		留意点	カリキュラムの中に実技を含むため、動きやすい服装で参加する		
	研修責任者	責任者名	介護労働安定センター島根支部長 廣常 美和		
	研修カリキュラム	科目別担当講師名・資格名	科目名	講師氏名	資格名
			1. 職務の理解	荻原厚司	施設の長
			2. 介護における尊厳の保持・自立支援	階本真一	介護福祉士
			3. 介護の基本	階本真一	施設の長
			4. 介護・福祉サービスの理解と医療音の連携	荻原厚司	介護福祉士・施設の長
				岡田享子	看護師
			5. 介護におけるコミュニケーション技術	階本真一	介護福祉士
			6. 老化の理解	田中ひとみ	准看護師
				階本真一	介護福祉士
			7. 認知症の理解	岡田享子	看護師
				荻原厚司	介護福祉士
萩本友美				介護福祉士	
田中ひとみ				准看護師	
8. 障害の理解			市川松子	介護福祉士	
			岡田享子	看護師	
9. こころとからだのしくみと生活援助技術			長田節子	介護福祉士	
			岡田享子	看護師	
			階本真一	介護福祉士	
			呉羽治恵	介護福祉士	
			青木あゆみ	介護福祉士	
			田中ひとみ	介護福祉士	
			室田結花	介護福祉士	
	佐藤智子	管理栄養士			
	久保田謙吾	介護福祉士			
	市川松子	介護福祉士			
	萩原厚司	介護福祉士			
	長田節子	介護福祉士			
幡 優子	介護福祉士				
萩本友美	介護福祉士				

	10. 振り返り	萩原厚司	介護福祉士
科目別シラバス	科目名	指導内容等	
	1. 職務の理解	・介護サービスの種類 ・介護の仕事を知る	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える生活援助中心型のケアの実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的の取り組めるようになる。
	2. 介護における尊厳の保持・自立支援	・利用者の尊厳を支える ・利用者の自立を支える	介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的支援及びやってはいけない行動例を理解する。
	3. 介護の基本	・介護の専門性と多職種連携 ・職業倫理 ・安全の確保 ・健康管理	・介護職の求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。 ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援得を捉える事ができるようになる。
	4. 介護・福祉サービスの理解と医療音の連携	・介護保険制度の基本 ・介護と医療の連携 ・障害者福祉制度の基本とその他の制度	介護保険制度や障害福祉制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ等について、その概要のポイントを列挙できるようになる。
	5. 介護におけるコミュニケーション技術	・コミュニケーションの基本 ・職員同士のコミュニケーション	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、生活援助中心型差サービスの職務に従事する者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解する。
	6. 老化の理解	・老化によるこころとからだの変化 ・高齢者に多い病気と症状 ・認知症の基礎知識	・加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。

			7. 認知症の理解	・ 認知症の基礎知識 ・ 認知症によるところとからだの変化 ・ 家族への支援	・ 介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症ケアの基本を理解する。
			8. 障害の理解	・ 障害のある人の生活の支援 ・ 家族への支援	障害の概念とICF,障害福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。
			9. ところとからだのしくみと生活援助技術	・ 介護の基本的な考え方 ・ ところのしくみ ・ からだのしくみ ・ 生活と家事 ・ 住環境の整備 ・ 移動・移乗の介護の基本 ・ 食事の介護の基本 ・ 睡眠の介護の基本 ・ 終末期の介護の基本	・ 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する基礎的知識を習得し、生活援助中心型サービスの安全な提供方法等を理解する。 ・ 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。 ・ 生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れを理解する。
			10. 振り返り	研修を終えての振り返り	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、終業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。
		修了評価の方法、基準	60分の筆記試験で70点以上で合格とする。69点以下は復習後、再評価を実施する。		
		通信課題の方法、基準	自宅にて課題を作成する。70点以上で合格とする。69点以下は復習後、再評価を実施する。		
実績情報		過去の研修実施回数	なし		
連絡先等		申し込み、資料請求先	公益財団法人介護労働安定センター島根支部		
		法人の苦情対応者	公益財団法人介護労働安定センター総務部長		
		事業所の苦情対応者	公益財団法人財団法人介護労働安定センター島根支部長		
質を向上させるための取り組み		研修生満足度調査情報	修了時アンケートを実施アンケート結果を今後の研修に活かす		